岡山県職業能力開発審議会議事概要

日 時：令和８年８月２５日（火）
１５時００分～１６時３０分
場 所：岡山県国際交流センター
レセプションホール

発　言　者	発　言　要　旨
事　務　局	【議題】 ・第１２次岡山県職業能力開発計画（素案）について
－委員意見－	
委　　員	・高校生に対して県から技能検定手数料の補助をしてもらっていて受験しやすくなっている。一方で教員不足により、教員同士の技術継承や技能検定受験に向けた放課後の生徒指導ができなくなっている。
委　　員	・県は、若者や女性の県内定着を図る中で、高校生の地元への愛着度向上のため、県職員や企業の方が高校へ出向き、岡山県や地元企業の魅力を伝える取組を行っている。このような取組を継続的に行う必要があると考える。
委　　員	・氷河期世代で非正規雇用者の方の就職相談を受けるが、就職は厳しい状況にある。技術向上のための勉強ができれば就職につながると考えるため、非正規雇用者への支援を充実してもらいたい。
委　　員	・再雇用も65歳で完全退職となるが、引き続き働きたいという相談が労働組合にくる。65歳を超えても働きたい人が働ける環境が整えばよいと考えている。
委　　員	・長期無業者に関して、離職後の期間が長いため、次の仕事に就きにくく、職業安定所への相談も行きづらいという話もある。そういう方の就労支援や、支援部署の情報提供についても考えてほしい。
委　　員	・福祉業界に関心を持つ学生が減少してきている。 ・資格をとったのに離職をしてしまった方に対してのリスキリングに本学も力をいれていこうとしている。 ・メンタルヘルス不調者の職場復帰へのニーズが高まってきていると思う。復帰に向けた独自のアプローチが必要ではない

発　言　者	発　言　要　旨
	かと考える。
委　　員	・難しいとは思うが、企業において若手社員が定着し企業に貢献できるよう、働きながら大学院等でスキルアップや資格取得を目指せる、仕事との両立が可能な仕組みを作るのが理想的である。 ・優秀な人材の突然の離職やメンタル不調を防ぐため、上司が部下の本音をしっかりと引き出せるよう、トレーニングを受けた上での実効性のある1on1面談ができるとよい。 ・キャリアコンサルティングは離職防止につながる有効な手段であるという認知を広げるために、中小企業や人事向けの研修等で周知するのもよいと思う。 ・計画素案に記載されているキャリア形成・リスキリング支援センターの周知について、どのように行うのか伺いたい。
委　　員	・当社では社内環境の整備に力を入れており、社内で技能検定を受けられるような体制を作ったり、時短勤務や育児休暇制度を導入したりしている。１人１人のスキルを上げることで、時短勤務等の人手をカバーしている。
委　　員	・人手不足はどこも一緒だと思うが、建設業界は資格取得が不可欠である。高度な資格取得者には手当を支給することや技能五輪等大会への出場を通じてモチベーション維持に努めている。 ・我々も独自に中学校、高校を対象に出前講座を行い、「設備」とはどういう仕事かを知ってもらう取組を行っている。
委　　員	・生花店業界として従業員の確保に苦慮しており、教育をすることで定着を図りたいが材料費も高いため行うことが難しい。一方で、資格を取ると給料も上がるので、早期に学ぶ機会を作ることが大切だと思う。
委　　員	・非正規雇用労働者への職業訓練により技能向上を図るということが計画にあるが、技能が身に付いたら正規化につながるのかというところが疑問に感じた。 ・長期無業者に対して、在宅等様々な仕事の仕方があることを広報してほしい。
会　　長	・多様性の尊重でいろんな方が働く中で、自己実現に繋がるキャリアアップや資格制度は有効だと感じる。職業能力開発計画の素案には、こういった具体的な施策を細かく盛り込む方が、身近な計画になるのではないかと思う。

発　言　者	発　言　要　旨
事　務　局	・若者の定着についての話があったが、早い段階から県内の企業を知っていただくために高校生をおかやまテクノロジー展（ＯＴＥＸ）へ招待する取組等を行っている。 ・高齢者の雇用については、70歳を超えての雇用を推進しているが、小規模な会社の方が取組が進んでいる。 ・外国人人材については昨年度３月に外国人材等支援推進計画を策定し、取組を進めている。 ・リスキリング支援センターの周知については、県のＨＰや広報紙「おかやま労働」で行う予定である。 ・非正規雇用者のリスキリングについては、単に技能を磨くだけでは正規雇用につながらないというところもあるが、正規雇用あるいは転職に向けた有効な手段の1つとして計画に記載している。 ・長期無業者については、「地域若者サポートステーション」が就業につなげる支援を行っている。